

町内の仲間と全力で競い合った一日
「喜多郡小学校陸上競技大会」

「令和5年度喜多郡小学校陸上競技大会」が10月13日、内子運動公園で開かれました。

開会式では立川小の上西大誠さん、梶野晴さんが「練習を支えてくれた人への感謝を忘れず、0・1秒、1センチでも記録を更新したい」と選手宣誓をしました。町内7校から109人の選手が、60メートル走り幅跳びなど男女7種目に出場。自己ベストを目指して全力で競技に挑んでいました。

各種目の優勝者と記録は下記の通りです。

種目名		氏 名	記 録
60メートル走	男子	宮岡 虎時 (立川)	8秒1
	女子	船田 結愛 (五十崎)	9秒3
100メートル走	男子	篠原 弘樹 (内子)	14秒0
	女子	東灘 優 (内子)	14秒5
60メートルハードル	男子	宮岡 虎時 (立川)	9秒1
	女子	東灘 優 (内子)	10秒1
走り幅跳び	男子	篠原 弘樹 (内子)	4メートル14
	女子	松本 紗和 (天神)	3メートル83
走り高跳び	男子	福岡 琉斗 (内子)	1メートル30
	女子	梶野 心 (立川)	1メートル22
ソフトボール投げ	男子	森岡 柊人 (内子)	50メートル57
	女子	宮岡 愛理 (天神)	42メートル24
400メートルリレー	男子	内子小学校	60秒3
	女子	天神小学校	62秒4



「茂山千三郎・内子狂言くらぶ2023披露公演」が10月14日、内子座で開かれました。

まず発足10周年を迎えた内子狂言くらぶが登壇。内子町が舞台のオリジナル狂言「かみあそび」では、立川神楽を取り入れた新しい演出も加わり、子どもたちが神々や大蛇などの姿で躍動しました。大人の部は「口真似」「蟹山伏」などの演目を熱演し、会場を沸かせました。

続いて茂山千三郎さんらプロの狂言師が、古典「萩大名」を上演しました。「萩大名」は、和歌を披露することになった大名が、事前に教わった一首をどうしても覚えられず、太郎冠者にこっそり聞きながら詠む話。楽しいやり取りと動きに、客席からは大きな笑い声と拍手が起っていました。

茂山千三郎さんの狂言公演
内子狂言くらぶも内子座で熱演



上_A1と人間の関係について、表現力豊かに語った金山さん 下_大会に出場した生徒の皆さん

21回目となる「内子町中学校英語弁論大会」(内子町教育委員会、(株)内子町国際交流協会主催)が9月26日、内子座で開かれました。町内4校から10人が参加。日常で感じたことなどを、流ちょうな英語で堂々と語りました。審査した愛媛大学准教授の三浦優生さんは「内容や構成、思いを伝えようとする姿勢など、どの発表も素晴らしかった」と講評を述べました。

上位入賞者と弁論タイトル

1位	金山 楓実さん (五十崎中3年) 「AI Cannot Beat Humans」
2位	奥本真里亜さん (内子中3年) 「Longing for Dream」
3位	納堂 大空さん (内子中3年) 「The First Step Toward World Peace」

※1位の金山さんには海外派遣事業の派遣団員になれる権利が与えられます。



上 芳我郎では収蔵資料の情報をパソコンに入力する地道な作業も

気になる職場で仕事を体験
内子高校生のインターンシップ

内子高校のインターンシップが10月4・5の両日、町内外の事業所で行われ、1年生88人がそれぞれ興味のある職場に参加しました。内子町役場では図書情報館と町並・地域振興課に分かれて仕事を体験しました。

図書情報館で受付や

本の整理作業をした大野史嗣さんは「ブックカバーを一冊一冊、手作業で貼っていると知って驚いた。子ども向けの低い本棚があったり、字が大きくて読みやすい本があったりと、読む人への気遣いが伝わった」と感想を語りました。

中学生が内子座の舞台で熱弁
思いを英語で伝える弁論大会

みんなでつくる新・総合計画
中学生がミライを想像するWS

今後10年間のまちの指針となる内子町総合計画の策定に向けて、若者の声を聞く「まちづくり中学生会議」が10月4日、共生館で開かれました。

町内の中学生20人が「転入者を増やす」「子育てしやすくする」などのテーマで、まちの課題や

解決策を議論。五十崎中の後藤せなさんは「小さな思い付きが政策の元になると分かった。内子の将来が楽しみ」と話しました。計画はこのようなワークショップをしながら構想をまとめ、関係機関での審議などを経て6年度末に完成する予定です。



グループで意見を共有しながら、まちを良くするプランを考える生徒たち